

# THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **709** November 2017

大原社会問題研究所雑誌

# 大原社会問題研究所雑誌

**709** 2017.11

七〇九号  
【特集】公害資料館を考える

## Special Issue : Consideration on KOUGAI Museum

- Introduction to the Special Issue .....SHIMIZU Yoshihito  
Significance and future of KOUGAI museum network .....HAYASHI Miho  
A purpose and problem of KOUGAI Museum from a historical viewpoint  
..... ODA Yasunori  
Challenges for learning from the experiences of KOUGAI ..... SHIMIZU Mayuko

## Article

- The formation of discussion meetings in the Movement of Partisans of Peace  
between 1952 and 1953  
.....NAGASHIMA Yuki

## Oral History : History of the JSP and Sohyo

- The LDP government and the JSP: my recollections as a staff member of  
policy-making councils (*Shingikai*) : An Interview with Hamatani Atsushi

## Book Reviews

- YAMASHITA Mai, *Nursing and Women's Labour in Modern Japan*  
..... HAYAKAWA Sachiko  
TSUTSUI Masao, *A Giant Corporation and the Local Community* .....KANEKO Ryoji

## Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

- ..... Ohara Institute for Social Research

## Monthly Research Meeting

## OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan  
web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>  
e-mail : [oharains@adm.hosei.ac.jp](mailto:oharains@adm.hosei.ac.jp)

編集(兼)発行人  
法政大学大原社会問題研究所  
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,000円(本体926円)  
年間購読 12,000円(税込)

二〇一七年十一月

## 【特集】公害資料館を考える

- |                       |       |    |
|-----------------------|-------|----|
| 特集にあたって               | 清水善仁  | 1  |
| 公害資料館ネットワークの意義と未来     | 林 美帆  | 4  |
| 歴史学の立場から見る公害資料館の意義と課題 | 小田康徳  | 18 |
| 公害経験の継承における課題と可能性     | 清水万由子 | 32 |

## ■論文

- |                               |      |    |
|-------------------------------|------|----|
| 平和擁護運動における討論集会の形成(1952-1953年) | 長島祐基 | 44 |
|-------------------------------|------|----|

## ■証言：戦後社会党・総評史

- |                 |  |    |
|-----------------|--|----|
| 政権と社会党——浜谷惇氏に聞く |  | 58 |
|-----------------|--|----|

## ■書評と紹介

- |                                 |       |    |
|---------------------------------|-------|----|
| 山下麻衣著『看護婦の歴史——寄り添う専門職の誕生』       | 早川佐知子 | 77 |
| 筒井正夫著『巨大企業と地域社会——富士紡績会社と静岡県小山町』 | 金子良事  | 81 |

- |             |               |    |
|-------------|---------------|----|
| 社会・労働関係文献月録 | 法政大学大原社会問題研究所 | 86 |
|-------------|---------------|----|

- |       |  |    |
|-------|--|----|
| 月例研究会 |  | 89 |
|-------|--|----|

所 報 2017年7月

発 行 / 法政大学大原社会問題研究所

発売所 / 法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1  
TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と  
課題がわかる貴重なデータブック

最新2017年版 第87集

# 日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

- 序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点  
 <特集1> 子どもの貧困対策  
 —制度化の経緯と今後の課題  
 <特集2> 運輸産業の安全と労働問題  
 —貸切バス事業を中心に

- 第1部 労働経済と労働者生活  
 第2部 経営労務と労使関係  
 第3部 労働組合の組織と運動  
 第4部 労働組合と政治・社会運動  
 第5部 労働・社会政策

<付録> 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計・事項索引 / 年表

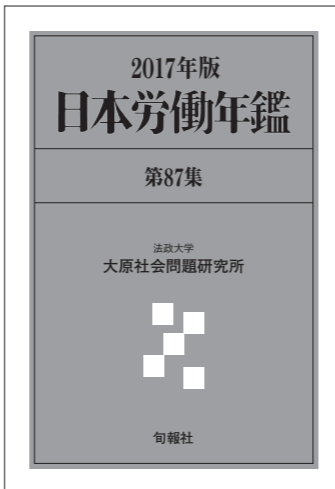
ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)  
 アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦  
 します

### 本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税  
 A5判・上製

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F  
 電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

# 日本労働研究雑誌

No.688 2017年11月号

定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

ディアローグ「労働判例この1年の争点」  
 特集「スポーツと労働」

- |           |  |               |
|-----------|--|---------------|
| ■提言       | プロスポーツ選手に労働法をどのように適用するのか?                    | 浜村 彰          |
| ■ディアローグ   | 労働判例この1年の争点                                  | 野田 進<br>奥田 香子 |
| ■論文       | 企業スポーツの現在を考える——変化する経営課題と企業スポーツの展望            | 佐伯年詩雄         |
|           | 企業スポーツ選手の労働と引退後のキャリアとの関係性                    | 中村 英仁         |
|           | 部活動顧問教師の労働問題——勤務時間・手当支給・災害補償の検討              | 中澤 篤史         |
|           | アスリートの組織化——選手会をめぐる世界的動向と日本の課題                | 川井 圭司         |
| ■書評       | 細見正樹著『ワーク・ライフ・バランスを実現する職場——見過ごされてきた上司・同僚の視点』 | 藤本 哲史         |
|           | 鳥貫智行著『派遣労働という働き方——市場と組織の間隙』                  | 鎌田 耕一         |
| ■読書ノート    | 猿田正機著『トヨタ研究からみえてくる福祉国家スウェーデンの社会政策』           | 西村 純          |
| ■論文Today  | リーダーのメンタルヘルスは重要ではないのか                        | 李 青雅          |
| ■フィールド・アイ | Uber型労働にいかに対抗するか(ボルドーから③)                    | 笠木 映里         |

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23  
 ☎03-5903-6255

# 労働の科学

Digest of Science of Labour

2017年10月号  
 72巻10号

10

定価 1,200円(税込)  
 年間購読 12,000円(税込)

【特集】次世代の働き手に向けた安全衛生教育

- ◆巻頭言<俯瞰> 次世代の働き手に向けた衛生教育のあり方……………江口剛史
- ◆次世代の働き手に向けた安全教育……………川野政彦
- ◆新入社員研修で得られる効果と役割とは?…平山淑子
- ◆発達段階に応じた安全衛生教育……………山崎浩一
- ◆危険感受性を高める研修……………池上 徹
- ◆若年者のための安全に関する研修——鉄鋼連盟における取り組みより……………松田文子
- ◆水難事故を科学するとUITEMATE:ういてまてにたどり着く……………斎藤秀俊

- ◆労研アーカイブを読む・32 労働のエネルギー代謝に関する研究とその現代的意義(1)……………岸田孝弥
- ◆広がる良好実践・27 ビル総合管理における「安全文化」確立を旨として……………前田充康
- ◆凡夫の安全衛生記・13……………福成雄三
- ◆につぼん仕事唄考・49  
炭鉱仕事が生んだ唄たち(その49)……………前田和男
- ◆織という表現・10……………阿久津光子
- ◆口絵:CSRがつなが地域社会と中小企業・46  
さいたま市CSRチャレンジ企業認証企業……………株式会社北伸

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所  
 TEL: 03-6447-1435 (事業部) FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/